



旧見付学校だより vol. 92

平成 30 年 5 月 29 日

旧見付学校と見付地区探訪 ①

～ おうみくにたまじんじゃ
淡海国玉神社 ～



見付地区は古くから東国と京を結ぶ宿として栄え、平安時代に国府が置かれ、中世に至るまで遠江の政治・経済の中心でもありました。この見付地区には、その歴史を物語る文化財が多く伝えられています。旧見付学校を見学する機会に、神社やお寺、路地なども散策してみませんか？きっと歴史的な空気を肌で感じ、見付地区の魅力をさらに発見できると思います。

旧見付学校の右側に通称「総社」と呼ばれる淡海国玉神社があります。（徒歩1分）ここは遠江の「総社」として崇拝されていました。創建は不詳ですが、平安時代の記録にもその名が見られます。この神社は主祭神として「おおくにぬしのみこと大国主命」を祀っています。そのため、狛犬ならぬチャーミングな狛兔が迎えてくれます。

三間社流造りひわだぶき檜皮葺の本殿は、明暦3年（1657年）ころの建造で、県の文化財に指定されています。また、見付天神裸祭では、深夜にやなひめ矢奈比賣神社から御輿が御渡します。

旧見付学校では企画展「明治150年と学校教育」を開催しています。この機会にぜひご覧ください。お待ちしております。



〒438-0086 磐田市見付 2452

磐田市旧見付学校 TEL & FAX 0538-32-4511

（休館日：月曜、祝日の翌日、年末年始）

6月の休館日：6/4、11、18、25

7月の休館日：7/2、9、17、23、30